

RI Japan 2024

5月22(水) - 23日(木)
虎ノ門ヒルズフォーラム(東京)

一日目

5月22日(水)

8:15 受付開始

9:00 Responsible Investor からの歓迎の挨拶

9:05 プレナリー1: サステナブルな投資におけるトランジション・ファイナンスの将来的な役割

- トランジション・ファイナンスとは実際に何を指すか? 投資家や金融機関が、トランジション・ファイナンスを推進するために、産業界や政策立案者に求めている支援とはどのようなものか?
- ソブリン移行債の発行の影響 - ソブリン移行債はトランジション・ファイナンスの国際的な信頼力を強化するか?
- 海外投資家は、日本がトランジション・ファイナンスを推進し、アジア GX コンソーシアムを設立する姿勢をどのように見ているか?

モデレーター:

マルガリータ・ピロフスカ (PRI グローバル・ポリシー・ディレクター)

講演者:

Bhargav Dasgupta (アジア開発銀行 副総裁)

高田 英樹 (金融庁 総合政策課長)

ワイレン・リヨン (ケベック州貯蓄投資公庫 (CDPQ) アジア太平洋 アジア太平洋支社長)

ヘレナ・ファン (LSEG アジア太平洋地域サステナブル・ファイナンス&インベストメント 部門責任者)

梶川文博 (経済産業省 産業技術環境局 GX 金融推進室兼 GX 推進機構設立準備室長)

10:05 基調講演

講演者:

松澤 裕 (環境省 地球環境審議官)

10:20 ネットワーキング・ブレイク

11:00 プレナリー2: 自然をポジティブに転換する: 生物多様性の受け入れと TNFD の組み込み

- TNFD フレームワーク実施における課題 - TCFD からの学びは何か?
- TNFD は企業とどのように連携し、意思決定に有益なフレームワークを構築しているか?
- 気候変動との戦いにおいて、なぜ自然が重要なのか?

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

モデレーター：

ナオミ・デイビス（駐日英国大使館 経済金融参事官）

講演者：

イヴォーン・ユー（EY マネージャー）

原口 真（MS&AD インシュアランスグループホールディングス サステナビリティ推進部 TNFD 専任 SVP）

Sylvain Vanston（Executive Director, Climate and Biodiversity Investment Research, MSCI）

秀島 弘高（農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー、TNFD タスクフォース・メンバー）

11:50 プレナリー3: ESG に対する反発に対抗するために、日本が果たすべき役割とは？

- ESG に対する反発が与える実際の影響とは？ ESG への反発はポジティブな変化も促進したのか？
- ESG 議論における日本の役割とは？ 日本の手本となるものは？
- 日本国内外の ESG ファンドは、懐疑的な市場を克服するために積極的に進化する必要があるか？ また、どのように進化すべきか？

モデレーター：

カリッド・アジズディン（Responsible Investor シニアレポーター）

講演者：

コリン・メルヴィル（Arkadiko Partners ファウンダー兼マネージングディレクター）

池田 賢志（金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー）

サシャ・ベスリック（SDG インパクトジャパン 最高投資戦略責任者）

長嶋 モニカ（InfluenceMap 東アジア・ディレクター）

12:40 ネットワーキング・ランチ

ストリーム A	ストリーム B	ストリーム C
<p>13:30 - A1: ラベル付けされた金融商品としての GX ボンドとトランジション・ボンドに注目する</p> <ul style="list-style-type: none">• 日本の「クライメート・トランジション・ボンド」はこれまでに、その透明性も含め、投資家からどのように受け入れられ、評価されているか？• トランジション・ボンドの役割を広い文脈で理解する <p>モデレーター：小平 龍四郎（上級論説委員兼編集委員，日本経済新聞）</p>	<p>13:30 - B1: ビジネスと人権</p> <ul style="list-style-type: none">• バリューチェーンにおける人権問題の管理• 人権デューデリジェンスの実施のためのベストプラクティス• 銀行や保険会社のための脱炭素化と公正な移行経路の開発 <p>モデレーター：岸上 有沙（EnCycleS 独立コンサルタント）</p> <p>講演者：</p>	<p>13:30 - C1: 世界基準の追求: ISSB とサステナビリティ開示の実施</p> <ul style="list-style-type: none">• ISSB の規制は、主要な問題を意味のある方法で特定しているか？• 投資家は ISSB 基準をどのように評価しているか？• ISSB 基準は、どのようにして日本およびグローバルに組み込まれるべきか？ <p>モデレーター：藤野 大輝（大和総研 金融調査部 制度調査課兼 ESG 調査課 研究員）</p>

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/



<p>講演者： ウルフ・エルランドソン (Anthropocene Fixed Income Institute (AFII) CEO 兼ファウンダー) 森下 麻衣子 (クライメート・ボンド・イニシアチブ 日本プログラムマネージャー) 小沼 健一 (経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 GX 金融推進室 兼 GX 推進機構設立準備室 環境金融企画調整官)</p>	<p>松岡 秀紀 (アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪) 特任研究員) 田中 竜介 (国際労働機関 (ILO) 駐日事務所 渉外・労働基準専門官) 森澤 充世 (PRI シニアリード) 松原 稔 (りそなアセットマネジメント チーフ・サステナビリティ・オフィサー常務執行役員責任投資部担当)</p>	<p>講演者： アンジャリ・ヴィスワモハナン (気候変動に関するアジア投資家グループ (AIGCC) 政策ディレクター) 小森 博司 (IFRS 財団国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 理事) 倉持 亘一郎 (金融庁 国際会計調整室長) 松本 千賀子 (三井住友トラスト・ホールディングス 執行役常務 CSu0)</p>
<p>14:15 休憩 (5分)</p>		
<p>14:20 - A2: ファイナンスド・エミッションの課題に対処する</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイナンスド・エミッションの識別と定義 ファイナンスド・エミッションの課題に対処するための効果的なアプローチとは? ファイナンスド・エミッションの計算と開示のベストプラクティス <p>モデレーター： 三井 千絵 (野村総合研究所 上級研究員)</p> <p>講演者： 小沼 健一 (経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 GX 金融推進室 兼 GX 推進機構設立準備室 環境金融企画調整官) 石川 知弘 (三菱UFJ フィナンシャル・グループ Chief Regulatory Engagement Officer、経営企画部部長) 長村 政明 (東京海上ホールディングス フェロー 国際機関対応) ポール・アントワン ティボ (ソシエテ・ジェネラル アジア太平洋地域サステナブル&ポジティブインパクトファイナンス責任者)</p>	<p>14:20 - B2: 日本における社会的開示</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会データの活用方法と社会データの重要性。なぜ社会データが財務的重要性を持つのか? 日本はまだ ESG の「S」および開示において遅れをとっている - この点が無視される理由とは? 他の OECD 諸国に追いつくためには? <p>モデレーター： 永井 朝子 (BSR マネージングディレクター)</p> <p>講演者： キラン・アジズ (KLP 責任投資担当部長) 森 敦仁 (FTSE Russell An LSEG Business サステナブル投資部門 日本代表) アナ・コロゾ (ワールド・ベンチマーキング・アライアンス インベスター・エンゲージメント・リード)</p>	<p>14:20 - C2: 日本におけるより良いガバナンスの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本のガバナンスを向上させ、サステナビリティと企業価値を改善するには何が必要か? 良いガバナンスは環境および社会問題とどのように関連しているか? ガバナンスを通じて企業評価を高めるには、PBR の改善を目指す取り組みがどのような影響をもたらしているか? <p>モデレーター： ニコラス・ベネシュ (公益社団法人会社役員育成機構 代表理事)</p> <p>講演者： 藤本 周 (国際コーポレートガバナンス・ネットワーク (ICGN) ジャパン・アドバイザー) 蔵元 左近 (蔵元国際法律事務所 代表弁護士) 松崎 正年 (LIXIL 取締役会議長)</p>

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/



15:05 ネットワーキングブレイク

<p>15:35 - A3: サステナブルな食品と農業の未来</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品サプライチェーンにおいて、排出をさらに削減するには？ よりサステナブルに肉を供給し、タンパク質を効果的に利用する方法とは？ 日本企業が農業と食品に関する情報開示を行う際の課題とは？また、どのように他の OECD 市場とのギャップを埋めるか？ <p>モデレーター： 小倉 千沙（メロス 代表取締役）</p> <p>講演者： 上原 まほ（アニマルウェルフェア・コーポレート・パートナーズ 代表理事） ソフィア・コンデス（FAIRR Director of Investor Outreach） 河口 真理子（不二製油グループ本社 ESG アドバイザー）</p>	<p>15:35 - B3: 継続するダイバーシティのジレンマ - 日本において変化をどう加速させるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティのビジネスケース。なぜより良いダイバーシティはより良いパフォーマンスにつながるのか？ 日本における女性役員のメンバーシップをどのように加速させ、2030 年までに 30%を達成するか？ <p>モデレーター： タチアナ・ゲーリン（2XGlobal 日本アンバサダー）</p> <p>講演者： トレーシー・ゴパール（Third Arrow Strategies CEO） 長野 悠志（国際協力機構 JICA DXLab 長） 中森 真紀子（伊藤忠商事 社外取締役（女性活躍推進委員会委員長）） バシャック・ベレリ（エヌエヌ生命保険 執行役員 チーフエンプロイヤーエクスペリエンスオフィサー）</p>	<p>15:35 - C3: 日本におけるサステナブルな個人投資の未来</p> <ul style="list-style-type: none"> NISA の台頭により、日本は個人投資家向けの、サステナブル投資のダイナミックなエコシステムをどのように形成できるか？ 導入すべき新たな投資商品は何か、また日本市場に最適なものは何か？ サステナブル投資について、日本の個人投資家をより良く教育するにはどうすれば良いか？ <p>モデレーター： 杉浦 康之（日興リサーチセンター 社会システム研究所長）</p> <p>講演者： 長野 吉納（大和アセットマネジメント 資産運用普及センター長） 岸上 有沙（EnCycleS 独立コンサルタント） 亀井 茉莉（金融庁 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室 課長補佐） 鈴木万梨子（きんゆう女子 アーティスト、創業者、代表取締役）</p>
--	---	--

16:25 休憩（5分）

16:30 プレナリー4: インパクト投資の台頭

- インパクト測定・マネジメント（IMM）の実践はどうなっているか？
- IMM の課題と今後の発展の方向性は？
- インパクトと財務的リターンを両立させるためにはどうすればよいのか？

モデレーター：

小笠原 由佳（社会変革推進財団 インパクト・オフィサー /インパクト志向金融宣言 インパクト・オフィサー 事務局代理）

講演者：

中村 将人（GLIN Impact Capital 代表パートナー）

宜保 友理子（慶應イノベーション・イニシアティブ（KII）プリンシパル）

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/



オイン・オドゥヤ（ウエリントン・マネージメント マネジング・ディレクター、インパクト計測管理プラクティス・リーダー）

17:20 プレナリー5: 非財務、財務、キャッシュフローの関係の可視化

- 非財務情報の可視化が求められる背景について
- 非財務データがファイナンスに与えるインパクト、そのインパクトパスの見える化について
- サステナブル先進企業の非財務データ管理の取り組み事例

モデレーター:

林 素明（PwC Japan グループ サステナビリティ・センター・オブ・エクセレンス パートナー）

講演者:

渡邊 博史（イオンモール 戦略ユニット 地域サステナビリティ推進室 室長 兼 イオン 地域サステナビリティ推進担当リーダー）

平野 友輔（SOMPO ホールディングス サステナブル経営推進部長）

18:00 カクテルレセプション&一日目終了

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

二日目
5月23日(木)

8:00 受付開始

<p>8:00-10:00 MSCI 朝食セミナー： レジリエンスの構築：気候変動・生物多様性リスクへの対応（招待制） 講演者：Sylvain Vanston, Executive Director, Climate Investment Research, MSCI 渡部健司, Vice President, ESG & Climate Research, MSCI 高橋智輝, Vice President, Climate Specialist, MSCI 柴野幸恵, Executive Director, ESG & Climate Research, MSCI 田中 祐太郎, Executive Director, ESG & Climate Client Coverage, MSCI</p>	<p>8:30-0930 深掘りワークショップ: Risk-Return-Impact: how impact investing is changing the paradigm デビッド・フライバーグ インパクト会計アドバイザー 気候変動・サステナビリティサービス, EY Japan 小木曾 麻里 SDG インパクトジャパン 共同代表取締役 渋谷 健 シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役</p>
---	---

ストリーム A	ストリーム B	ストリーム C
<p>9:45 - A4: 生物多様性データの課題の克服</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資家はどのようなデータを収集し開示すべきか？ 特定の場所に関連するデータを収集する際の課題 技術革新をどのように支援できるか？ サプライチェーンデータの取得 ギャップの埋め合わせ - 今後の生物多様性関連データの品質はどのように進化するか？ 日本の企業は生物多様性開示の課題にどのように対処しているか？ 	<p>9:45 - B4: 未来のESGリーダーパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代のESGおよびインパクト人材をどのように育てるべきか？ 次世代はイノベーションとインパクトについてどのように考えているか？ 日本においてインパクト分野でのより良い人材を育成・教育するためには必要なものとは？ <p>モデレーター： 小崎 亜依子（日本民間公益活動連携機構（JANPIA） 出資事業部 部長）</p> <p>講演者：</p>	<p>9:45 - C4: 日本における効果的なエンゲージメントの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なるタイプのエンゲージメントを理解する - 過去数年でどのように進化してきたか？ エンゲージメントの成功を阻害する要因は何か？まずは成功をどのように測定するか？ 日本において有効な利害関係者エンゲージメントをどのように創出するか？ <p>モデレーター： 松木 耕（Proxy Watcher 代表取締役）</p> <p>講演者：</p>

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/



<p>モデレーター： 水野ウィザースプーン 希 (日本総研創発戦略センター シニアスペシャリスト サステ ナビリティ&ソーシャルイン パクト)</p> <p>講演者： 角田 恵里 (GDP Worldwide- Japan マネージャー) マックス・ブーシェ Senior Manager, Research & Engagements, Biodiversity, FAIRR) スノーレ・ジェルデ (ノルウ ェー銀行インベストメント・ マネジメント (NBIM) リー ド・インベストメント・スチ ュワードシップ・マネージャ ー)</p>	<p>河合 将樹 (UNERI 代表取締 役) 久田 哲史 (Soil 代表理事) 中村 多伽 (taliki 代表取締 役)</p>	<p>ブリン・オブライエン (オース トラリア企業責任センター エグゼクティブディレクター) ウィル・ヴァン・デ・ポル (マ ーケット・フォース CEO) ウィル・オルトン (MUFG アセットマネジメント サステナブルインベストメント 顧問) ウィル・ヴァン・デ・ポル (マーケット・フォース CEO)</p>
---	---	--

10:30 休憩 (15分)

<p>10:45 - A5: 市場の公正性と サステナブルファイナンスに おけるグリーンウォッシング</p> <ul style="list-style-type: none"> サステナブルファイナンス における「グリーンウォッ シング」の具体的な意味 現行の定義はあまりにも広 範すぎるのか? サステナブルファンド業界 におけるグリーンウォッシ ングのリスクにはどのよう な要因が寄与しているか? どの領域が実際の懸念事項 であり、積極的な対策が取 られるべきかをどこで識別 できるか? <p>モデレーター： カリッド・アジズディン (Responsible Investor シニアレポ ーター)</p> <p>講演者： 山下 朝陽 (クライアントア ース 代表理事)</p>	<p>10:45 - B5: ESG の成果に注目 する</p> <ul style="list-style-type: none"> ESG 投資で創出しているも のとは? 実際の成果は何か? どのように価値を生み出す のか? 経営のマイルストーン、投 資先企業に対する持続可能 な成果の創出 <p>モデレーター： 木村 卓郎 (G-Cubed Partners 代表取締役社長)</p> <p>講演者： 前田 花恵 (CSR デザイン環境 投資顧問 マネージング・ディ レクター) 市川 佐知子 (田辺総合法律事 務所 パートナー弁護士) 川崎 華奈 (モーニング スター・ジャパン インデッ クス事業部 部長)</p>	<p>10:45 - C5: ESG へ成功裏に AI を導入する - テクノロジー でサステナビリティを向上さ せる</p> <ul style="list-style-type: none"> AI ツールが社会的影響お よび気候への影響を推進す る際のメリットと懸念点 は? AI はデータの品質と標準 化をどのように向上させる ことができるか? AI の採用により ESG ポリ シーに変革をもたらした最 近の成功例とは? <p>モデレーター： 中久保 菜穂 (シェルパ・アン ド・カンパニー CEIO ESG 責任 者)</p> <p>講演者： 須貝 フィリップ (同志社大学 ビジネス研究科 教授、社会 価値研究センター長) ダニエル・ホワイト (ジェンティアン CEO)</p>
--	---	--

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

<p>小林 信介（金川国際法律事務所 パートナー） キム・ シューマツハ （九州大学 准教授）</p>		<p>中尾 悠利子（関西大学 准教授）</p>
<p>11:30 休憩（15分）</p>		
<p>11:45 - A6: 自主的カーボンクレジットの進化</p> <ul style="list-style-type: none"> カーボン価格の投資可能性と銀行対応性。価格を使用して行動を変化させるにはどうすればよいのか？ 日本は国際市場と連動した制度を導入する予定か？ <p>モデレーター： ユーリ・ハンバー（優利グループ 代表取締役）</p> <p>講演者： 丹本 憲（商船三井 カーボンソリューション事業ユニット 首席ストラテジスト） 松尾 琢己（東京証券取引所カーボン・クレジット市場整備室長） パトリック・ビュルギ（South Pole Japan 共同創業者 兼 マネージングディレクター）</p>	<p>11:45 - B6: ESG の定義に関する議論</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行の ESG の定義における主な不一致点は何か？ スチュワードシップやインパクト投資など、ESG 内の共通テーマの定義について、最良の考え方と調和をとるべきか？ 投資家間のより良いコミュニケーションのために、ESG の定義における明確さと一貫性を向上させる方法 <p>モデレーター： 御代田 有希（東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任研究員）</p> <p>講演者： 小野塚 恵美（エミネットグループ 代表取締役社長 CEO） 荒井 勝（日本サステナブル投資フォーラム 会長） 江夏 あかね（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長）</p>	<p>11:45 - C6: サステナビリティ情報開示に対する保証ニーズの高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> 保証を提供するために期待されるデータの信頼性レベルは？ サステナビリティ情報の内部統制をどのように向上させるべきか？ 中小企業（SME）のデータを保証することは実際に可能か？ 質的情報や将来情報は保証されるべきか？ <p>モデレーター： 鶴野 智子（サステナビリティ マネジメント&アシュアランス 機構（i-SMA）理事）</p> <p>講演者： 熊谷 五郎（みずほ証券グローバル戦略部 産官学連携室 上級研究員） 三井 千絵（野村総合研究所 上級研究員） 小谷崎 真（島津製作所 常勤 監査役）</p>

12:30 ネットワーキング・ランチ

13:30 **基調講演**

講演者：塩村 賢史（年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）ESG・スチュワードシップ推進部長）

13:45 **基調講演**

講演者：シェリー・マデーラ（GDP CEO）

14:00 **基調講演**

講演者：武士俣 隆介（財務省 大臣官房企画官 投資企画審査室）

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

14:15 プレナリー6: 日本の脱炭素化を加速させる

- 日本のネットゼロ目標は現実的か？
- 国際企業は日本の脱炭素化への取り組みや、グリーンアンモニアなどの技術をどのように評価しているか？
- 協力的な取り組みにおいて、インパクトや影響をどのように割り当てるべきか？
- 日本の将来のエネルギー政策はどのようになるべきか？
- 今後、石炭火力フェーズアウトテクノロジーの役割は増えるか？
- 日本の長期的な再生可能エネルギー計画において、オフショア風力の役割はどのように位置づけられているか？

モデレーター:

高瀬 香絵 (自然エネルギー財団 シニアコーディネーター)

講演者:

藤井 健司 (グラスゴー金融同盟 (GFANZ) 日本支部リード)

藤川 宏 (キリンホールディングス 常務執行役員 CSV 戦略担当 (GSu0))

Yukari Takamura (Professor, Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo)

アレクサンダー・パイ (ニューサウスウェールズ大学 アジャクトフェロー)

15:05 ネットワーキング・ブレイク

15:45 プレナリー7: 日本のアセットオーナーの課題 - より多くの機関投資家の資本をサステナブル投資に呼び込むには

- 日本の機関投資家コミュニティとより効果的に連携し、サステナブルファイナンスへの投資を増やす方法とは？
- 日本の資産運用業界の未来 - 機関投資家の ESG への投資を促進するためにはどのような改革が必要か？
- 日本の企業年金基金 - サステナブル投資に関する啓発をどのように進めることができるか？

モデレーター:

物江 陽子 (マーサーマーサージャパン 資産運用コンサルティング部門 シニアコンサルタント (サステナブル投資担当))

講演者:

野村 裕之 (かんぽ生命保険 執行役員 兼 運用企画部長)

木村 武 (日本生命 執行役員)

岩立 康也 (肥後銀行 取締役常務執行役員、肥後銀行企業年金基金 理事長)

16:30 カンファレンス終了

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI